

令和6年度 通信教育実施計画 【英語コミュニケーションⅠ】

英語コミュニケーションⅠ	学年	1学年	単位数	3単位	課題	9枚	面接	12時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「All Aboard! English Communication I」 東書 C I 701
--------------	----	-----	-----	-----	----	----	----	------	------------	---

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成するとともに、自律的に英語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができるようにする。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、五つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

(2) 評価の方法

- ア 年9回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。
- イ 年12時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況进行评估します。
- ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	Pre-Lesson 1, Pre-Lesson 2	Lesson 1, Lesson 2	Lesson 3, Lesson 4	Lesson 5 / Reading 1		Lesson 6
学習項目	<Pre-Lesson 1> My Name Is Ito Neko <Pre-Lesson 2> I Like Junk Food!	<Lesson 1> Breakfast around the World <Lesson 2> Australia's Cute Quokkas	<Lesson 3> A Train Driver in Sanriku <Lesson 4> A Miracle Mirror	<Lesson 5> Learning from the Sea <Reading 1> Short Stories in English	前期単位認定試験	<Lesson 6> A Funny Picture from the Edo Period
学習内容	<Pre-Lesson 1> ・be 動詞を使用し、自身の名前、出身地、好きなもの等について、自己紹介できるようになる。 <Pre-Lesson 2> ・一般動詞を使用し、好みの食べ物などについて、対話できるようになる。	<Lesson 1> ・世界で食べられている朝食について書かれた英文を解釈する。 ・過去形を用いて、自身の過去について述べられるようになる。 <Lesson 2> ・オーストラリアに生息するクオッカについて書かれた英文を解釈する。 ・進行形を用いて、今していることについて述べられるようになる。	<Lesson 3> ・三陸鉄道の運転士が仕事内容について語る英文を解釈する。 ・助動詞 can を用いて、自身のできることを述べられるようになる。 ・助動詞 will を用いて、自身の意思や未来について表現できるようになる。 ・命令文を用いて、交通手段の案内をすることができる。 <Lesson 4> ・ウユニ塩源について英語で書かれた英文を解釈する。 ・to 不定詞の名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法について理解する。 ・接続詞 when と that の使い方をマスターする。	<Lesson 5> ・長浜高校水族館部について書かれた英文を解釈する。 ・動名詞を用いて、自身の好きなことなどを表現できるようになる。 ・to 不定詞を用いて、自身の将来の夢について表現できるようになる。 ・英語で書かれたショートストーリーをイントネーションや強弱・リンキング等を意識して音読する。 知覚動詞について学習する。		<Lesson 6> ・浮世絵について書かれた英文を解釈する。 ・好きな絵や写真・マンガについて英語で述べる際に役立つ表現を身に付ける。 ・好きな絵についてその理由をあげてスピーチをする。 ・受け身について理解する。 ・人や物に焦点を当てて受け身を用いて描写することができるようになる。
添削課題		添削課題 1・2回目	添削課題 3回目	添削課題 4回目		添削課題 5回目
面接指導			面接時間 4時間	面接時間 2時間		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	Lesson 7	Lesson 8	Lesson 9	Lesson 10		
学習項目	<Lesson 7> A Diary of Hope	<Lesson 8> A Door to a New Life	<Lesson 9> Fighting Plastic Pollution	<Lesson 10> Pigs from across the Sea	後期単位認定試験	1年間の復習
学習内容	<p><Lesson 7></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンネ・フランクについて書かれた英文を解釈する。 ・戦争が人々の暮らしに与える影響について考える。 ・日記に書いてみたいことを英語で表現してみる。 ・関心のある人物について英語で説明する際に役立つ表現を身に付ける。 ・比較級について理解する。 ・2つ以上のものを比べて説明することができるようになる。 	<p><Lesson 8></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロボットカフェについて書かれた英文を解釈する。 ・人型ロボットができることについて知る。 ・電車の乗り換え案内をする時に役立つ英語を身に付ける。 ・現在完了形について理解する。 ・現在完了の経験用法を用いて「～したことがある」という自分の経験を述べられるようになる。 ・助動詞 can を用いて自分の開発する夢のロボットができることを英語で表現する。 	<p><Lesson 9></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境汚染問題について書かれたブログの英文を解釈する。 ・プラスチックゴミの問題について知る。 ・環境を守るためにできることについて英語で述べる際に役立つ表現を身に付ける。 ・名詞を後ろから説明する分詞（後置修飾）について理解する。 ・現在分詞と過去分詞の違いを把握する。 ・分詞を用いて人物やものを描写することができるようになる。 	<p><Lesson 10></p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦時中の沖縄とハワイのウチナーンチュについて書かれた英文を解釈する。 ・沖縄とハワイの歴史や文化について知る。 ・海外の文化や社会に対する理解を深める活動について考え、英語で発表する際に役立つ表現を身につける。 ・関係詞[関係代名詞 who, which, that]について理解する。 ・関係詞を用いて人や物について説明を加えることができるようになる。 		後期及び1年間の学習内容を振り返る。
添削課題	添削課題 6回目	添削課題 7回目	添削課題 8回目	添削課題 9回目		
面接指導		面接時間 4時間	面接時間 2時間			

令和6年度 通信教育実施計画 【英語コミュニケーションⅡ】

英語コミュニケーションⅡ	学年	2学年	単位数	4単位	課題	12枚	面接	16時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「All Aboard! English Communication Ⅱ」 東書 CⅡ701
--------------	----	-----	-----	-----	----	-----	----	------	------------	---

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成するとともに、自律的に英語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。
3. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して詳しく話して伝え合ったりすることができるようにする。
4. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。
5. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、五つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

(2) 評価の方法

- ア 年12回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況の評価します。
- イ 年16時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況の評価します。
- ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況の評価します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	Lesson 1	Lesson 2, Lesson 3	Lesson 4, Lesson 5	Reading 1		Lesson 6
学習項目	<Lesson 1> A Colorful Island	<Lesson 2> With the Beatles <Lesson 3> Wild Men	<Lesson 4> Little Hero <Lesson 5> Special Makeup in Kabuki	<Reading 1> Short Stories in English	前期単位認定試験	<Lesson 6> Seeds for Future Generations
学習内容	<p>< Lesson 1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行の報告がテーマの英文を読み、重要表現を学習する。 ・関係代名詞 what を用いた文の形・意味を理解し、表現できるようにする。 	<p><Lesson 2></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ番組におけるディスクジョッキーとリスナーの会話文を読み、重要表現を学習する。 ・感覚や感情を表す語を学習する。 ・形容詞と副詞の比較級・最上級について学習し、2つ以上のものを比べて説明する。 <p><Lesson 3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの行事についての英文を読み、重要表現を学習する。 ・It の用法 (It is ～to V の構文) について学習し、ある行事に対する意見や感想を述べる。 	<p><Lesson 4></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハチドリの状態についての説明文と物語を読み、重要表現を学習する。 ・間接疑問文について学習し、間接的に自分の疑問を伝える。 <p><Lesson 5></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎についての音声ガイドダンスを英語で読み、重要表現を学習する。 ・日本の伝統文化について、英語で説明する。 ・to 不定詞を含む表現について学習し、人にしてもらいたいことについて伝える。 	<p><Reading></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で書かれた物語『ムジナ』を読み、重要表現を学習する。 ・情景や登場人物の心情を想像し、感情を込めて朗読をする。 ・間接疑問文・to 不定詞を含む表現について総復習する。 ・動詞の形と時の関係について学習する。 		<p><Lesson 6></p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府立桂高校の京野菜部のグループ発表の英語を読み、重要表現を学習する。 ・さまざまな職業を表す語を学習する。 ・地元で有名な場所やものについて、英語で説明する。 ・将来就きたい職業とその理由を英語で述べる。 ・動詞の目的語になる if 節について学習する。
添削課題	添削課題 1 回目	添削課題 2・3 回目	添削課題 4・5 回目	添削課題 6 回目		添削課題 7 回目
面接指導			面接時間 6 時間	面接時間 2 時間		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	Lesson 7, Lesson 8	Lesson 9, Lesson 10	Reading 2			
学習項目	<Lesson 7> Over the Wall <Lesson 8> Inspiration from Nature	<Lesson 9> The Bitter Truth behind Chocolate <Lesson 10> Fighting Angel	<Reading 2> Bear's Pie	1年間の復習	後期単位認定試験	次年度学習への展望
学習内容	<p><Lesson 7></p> <ul style="list-style-type: none"> アーティストのミヤザキケンスケさんが経歴や活動について語る英文を読み、重要表現を学習する。 関係副詞 where/when について学習し、場所や時について説明を加える。 <p><Lesson 8></p> <ul style="list-style-type: none"> 自然科学をテーマにしたオンライン講演の英文を読み、重要表現を学習する。 知覚動詞について学習し、見たり聞いたりしたことについて、その様子を伝える。 	<p><Lesson 9></p> <ul style="list-style-type: none"> チョコレートをめぐる現実について書かれた雑誌記事の英文を読み、重要表現を学習する。 使役動詞について学習する。 <p><Lesson 10></p> <ul style="list-style-type: none"> 英国の看護師フローレンス・ナイチンゲールについて書かれた英文を読み、重要表現を学習する。 分詞構文について学習し、「～しながら」と文に情報を加える。 	<p><Reading 2></p> <ul style="list-style-type: none"> 英語で書かれた物語文『ベアーズ・パイ』を読み、重要表現を学習する。 物語の結末を考え、英語で台本を作り朗読劇を演じる。 本文中に出てきた熟語などの英語表現について確認する。 	後期及び1年間の学習内容を振り返る。		
添削課題	添削課題 8・9回目	添削課題 10・11回目	添削課題 12回目			
面接指導		面接時間 6時間	面接時間 2時間			

令和6年度 通信教育実施計画 【英語コミュニケーションⅢ】

英語コミュニケーションⅢ	学年	3 学年	単位数	4 単位	課題	1 2 枚	面接	1 6 時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「All Aboard! English Communication Ⅲ」 東書 CⅢ701
--------------	----	------	-----	------	----	-------	----	--------	------------	---

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成するとともに、自律的に英語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

日常的・社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができるようにする。
3. 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。
4. 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができることができるようにする。
5. 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。</p> <p>○外国語の音声、語彙・表現、文法を、五つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</p>	<p>○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。</p> <p>○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。</p>	<p>○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>

(2) 評価の方法

- ア 年12回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。
- イ 年16時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況进行评估します。
- ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	Lesson 1	Lesson 2, Lesson 3	Lesson 4, Lesson 5	Reading 1		Lesson 6
学習項目	<Lesson 1> Gifts to Barcelona	<Lesson 2> <i>Akkamui</i> <Lesson 3> Your True Colors	<Lesson 4> Our Future Food? <Lesson 5> Madagascar	<Reading 1> The Fun They Had	前期単位認定試験	<Lesson 6> The Mystery of the Terracotta Warriors
学習内容	<Lesson 1> ・アントニオ・ガウディとその建造物についての英文を解釈する ・建築物について英語で紹介する ・to不定詞・動名詞を用いて表現する	<Lesson 2> ・アッカムイ（エゾモモンガ）についての英文を解釈する ・生き物の特徴について英語で説明する ・現在完了形を用いて表現する <Lesson 3> ・ファッションについての英文を解釈する ・ファッションについて英語でインタビューする ・使役動詞を用いて表現する	<Lesson 4> ・食糧問題についての英文を解釈する [言語活動] ・食糧問題について英語でディベートする ・受け身を用いて表現する <Lesson 5> ・マダガスカルについての英文を解釈する ・地域の自然について英語でプレゼンテーションする ・関係代名詞を用いて表現する	<Reading> ・The Fun They Had というタイトルの物語文を読む ・物語の背景や登場人物の気持ちなどを意識しながら話の流れを掴む ・物語の内容に関する質問に英語で答える		<Lesson 6> ・秦の兵馬俑についての英文を解釈する ・訪れてみたい史跡について英語でまとまりのある文章を書く ・関係代名詞の非制限用法（,who / ,which）を用いて表現する
添削課題	添削課題 1回目	添削課題 2・3回目	添削課題 4・5回目	添削課題 6回目		添削課題 7回目
面接指導			面接時間 6時間	面接時間 2時間		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	Lesson 7, Lesson 8	Lesson 9, Lesson 10	Reading 2			
学習項目	<Lesson 7> Green Challenges <Lesson 8> Witnesses of War	<Lesson 9> The Wonders of Lightning <Lesson 10> Katherine's Long Journey	<Reading 2> Table for Two	1年間の復習	後期単位認定試験	今後の英語学習への展望
学習内容	<p><Lesson 7></p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化とエネルギー問題についての英文を解釈する 再生可能エネルギーについて国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをする 比較表現を用いて表現する <p><Lesson 8></p> <ul style="list-style-type: none"> 広島路面電車にまつわる英文を解釈する 経験したことや考えたことについて英語でまとまりのある文章を書く 名詞を後ろから説明する分詞を用いて表現する 	<p><Lesson 9></p> <ul style="list-style-type: none"> 雷について書かれた英文を解釈する 電気の有効活用について英語でミニディベートをする 仮定法過去を用いて表現する <p><Lesson 10></p> <ul style="list-style-type: none"> キャサリン・ジョンソンさんについて書かれた英文を解釈する 社会に影響を与えた人物について英語でエッセイを書く 関係代名詞 (whose) を用いて表現する 	<p><Reading 2></p> <ul style="list-style-type: none"> Table for Two というタイトルの物語文を読む 物語の背景や登場人物の気持ちなどを意識しながら話の流れを掴む 物語の内容に関する質問に英語で答える 	後期及び1年間の学習内容を振り返る。		
添削課題	添削課題 8・9回目	添削課題 10・11回目	添削課題 12回目			
面接指導		面接時間 6時間	面接時間 2時間			

令和6年度 通信教育実施計画 【論理・表現Ⅰ】

論理・表現Ⅰ	学年	2学年	単位数	2単位	課題	6枚	面接	8時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅰ」 東書 論Ⅰ701
--------	----	-----	-----	-----	----	----	----	-----	------------	--

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くこと の三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、自律的に英語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

1. 日常的な話題や社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができるようにする。
2. 日常的な話題や社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。
3. 日常的な話題や社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。</p> <p>○外国語の音声、語彙・表現、文法を、五つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</p>	<p>○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。</p> <p>○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。</p>	<p>○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>

(2) 評価の方法

- ア 年6回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。
- イ 年8時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況进行评估します。
- ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	Unit 1	Unit 1	Unit 1	Unit 1		Unit 1
学習項目	<Unit 1> Lesson 1	<Unit 1> Lesson 2, Lesson 3	<Unit 1> Lesson 4, Lesson 5, Lesson 6	<Unit 1> Lesson 7, Lesson 8, Lesson 9	前期単位認定試験	<Unit 1> Lesson 10, Lesson 11, Lesson 12
学習内容	<Unit 1: Lesson 1> ・食事会で出された料理についての対話文を通して、褒める・勧める・断る際の表現を身に付ける。	<Unit 1: Lesson 2> ・道案内についての対話文を通して、提案する・依頼する・道順を説明する際の表現を身に付ける。 <Unit 1: Lesson 3> ・人物について紹介するスピーチを通して、身近な人を紹介する際の表現や聞き手の注意を引くコツを身に付ける。	<Unit 1: Lesson 4> ・体調不良についての対話文を通して、症状の伝え方・体調の尋ね方・指示やアドバイスの仕方を学習する。 <Unit 1: Lesson 5> ・買い物に出かけた際の対話文を通して、食材にまつわる表現・探しているものについて描写する方法・相づちの打ち方を身に付ける。 <Unit 1: Lesson 6> ・行ってみたい場所について書かれたパラグラフを通して、自分が希望することやその理由を読み手に分かりやすく述べるコツを習得する。	<Unit 1: Lesson 7> ・イベントに勧誘される場面の対話文を通して、英語での誘い方・誘いの受け方・誘いの断り方について学習する。 <Unit 1: Lesson 8> ・スクールカウンセラーに相談する場面の対話文を通して、状況を説明する・手助けを申し出る・助言や提案をする・お礼や感謝を伝える際の英語表現を身に付ける。 <Unit 1: Lesson 9> ・自分のお気に入りを紹介するスピーチを通して、映画や本のあらすじを要約する方法・登場人物などを紹介する表現・感想や批評を述べるコツを習得する。		<Unit 1: Lesson 10> ・待ち合わせに遅刻する場面の対話文を通して、相手に謝る・相手を許す・相手を励ます際の英語表現を学習する。 <Unit 1: Lesson 11> ・家庭でディスカッションしている場面の対話文を通して、共感や残念な気持ちを述べたり、解決策を提案する際に役立つ英語表現を身に付ける。 <Unit 1: Lesson 12> ・英字新聞に投稿された記事を通して、理由とともに要望や主張を述べるパラグラフの書き方を習得する。ディベートを学ぶにあたって、基本事項を押さえる。
添削課題		添削課題 1回目	添削課題 2回目	添削課題 3回目		添削課題 4回目
面接指導			面接時間 2時間	面接時間 2時間		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	Unit 2	Unit 2	Unit 2	Unit 2		
学習項目	<Unit 2> Lesson 1, Lesson 2	<Unit 2> Lesson 3, Lesson 4	<Unit 2> Lesson 5, Lesson 6	<Unit 2> Lesson 7, Lesson 8	後期単位認定試験	1年間の復習
学習内容	<p><Unit 2: Lesson 1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスでディベートをしている場面の対話文を通して、基本的なディベートの流れについて知る。 <p>主張やその理由の述べ方・具体例の挙げかたを学習する。</p> <p><Unit 2: Lesson 2></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の意見に反駁する方法・相手の意見を引用する方法を学ぶ。 	<p><Unit 2: Lesson 3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験談のスピーチ原稿を通して、できごとを生き生きと描写するコツ・経験から得た教訓などをアドバイスする方法を習得する。 <p><Unit 2: Lesson 4></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びやスポーツについて紹介・説明している英文を通して、ルールや手順を順序立てて説明する方法・聞き手の知識に合わせて説明する方法を身につける。 	<p><Unit 2: Lesson 5></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本をPRするプレゼンテーションの英文を通して、事実と意見を区別して述べる方法や文化や習慣を説明する際の英語表現を学習する。 <p><Unit 2: Lesson 6></p> <ul style="list-style-type: none"> ・物事の両面を伝える手本となるパラグラフを通して、利点と欠点の述べ方・話題を発展させる方法・話題の変え方を押さえる。 	<p><Unit 2: Lesson 7></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手を納得させる手本となるパラグラフを通して、自分の主張について理由を述べる方法、理由の要約の仕方を学ぶ。 <p><Unit 2: Lesson 8></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手を説得する手本となるパラグラフを通して、人の発言を直接引用する方法・条件を出して意見を述べる方法・説得する方法を身につける。 		後期及び1年間の学習内容を振り返る。
添削課題		添削課題 5回目		添削課題 6回目		
面接指導		面接時間 2時間	面接時間 2時間			

令和6年度 通信教育実施計画 【論理・表現Ⅱ】

論理・表現Ⅱ	学年	2学年	単位数	2単位	課題	6枚	面接	8時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ」 東書 論Ⅱ701
--------	----	-----	-----	-----	----	----	----	-----	------------	--

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くこと の三つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、自律的に英語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、

1. 日常的な話題や社会的な話題について、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。
2. 日常的な話題や社会的な話題について、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。
3. 日常的な話題や社会的な話題について、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。</p> <p>○外国語の音声、語彙・表現、文法を、五つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。</p>	<p>○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。</p> <p>○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。</p>	<p>○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>

(2) 評価の方法

- ア 年6回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。
- イ 年8時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況进行评估します。
- ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	Unit 1	Unit 1	Unit 1	Unit 1		Unit 2
学習項目	<Unit 1> Lesson 1, Lesson 2, Lesson 3, Lesson 4	<Unit 1> Lesson 5, Lesson 6, Lesson 7, Lesson 8	<Unit 1> Lesson 9, Lesson 10, Lesson 11, Lesson 12	前期学習内容の復習	前期単位認定試験	<Unit 2> Lesson 1, Lesson 2, Lesson 3
学習内容	<p><Unit 1: Lesson 1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達に留学について報告する場面の会話文。 ・訂正する・心配する・感謝する際の英語表現を身に付ける。 <p><Unit 1: Lesson 2></p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生が日本の学校に初めて登校した場面の会話文。 ・驚く・繰り返す・言い換える際の英語表現を身に付ける。 <p><Unit 1: Lesson 3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の経験を紹介するスピーチ原稿。 ・スピーチにて注意を引く・同意を求める際の英語表現を身に付ける。 <p><Unit 1: Lesson 4></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で書かれたファンレター。 ・望む・褒める際の英語表現を身に付ける。 	<p><Unit 1: Lesson 5></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの内容を説明しイベントに誘う場面の会話文。 ・誘う・説明する際の英語表現を身に付ける。 <p><Unit 1: Lesson 6></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館で資料を探し図書館司書に相談する場面の会話文。 ・聞き直す・依頼する際の英語表現を身に付ける。 <p><Unit 1: Lesson 7></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語と日本語の翻訳の難しさについて述べられたスピーチ原稿。 ・要約する・言い換える際の英語表現を身に付ける。 <p><Unit 1: Lesson 8></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信販売で交換（返品）依頼をするメール文。 ・困ったことを伝える・説明する・控えめに依頼する際の英語表現を身に付ける。 	<p><Unit 1: Lesson 9></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシーを利用する場面の会話文。 ・依頼する・提案する際の英語表現を身に付ける。 <p><Unit 1: Lesson 10></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生たちによる言語についてディスカッション。 ・仮定する・反対する際の英語表現を身に付ける。 <p><Unit 1: Lesson 11></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の学校生活と親の世代の学校生活の違いについて調査した結果を報告するプレゼンテーション。 ・報告する・比較して説明する際の英語表現を身に付ける。 <p><Unit 1: Lesson 12></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就きたい仕事とその理由について書かれたエッセイ。 ・説明する・理由を述べる・仮定する際の英語表現を身に付ける。 	前期学習内容を振り返る。		<p>[題材内容]</p> <p>「市のタワー建設計画に賛成」という論題で展開されているディベート。</p> <p><Unit 2: Lesson 1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定側立論と否定側反駁において、推論する・賛成する・反対する際の英語表現を身に付ける。 <p><Unit 2: Lesson 2></p> <ul style="list-style-type: none"> ・否定側立論と肯定側反駁において、主張する・推論する・賛成する・反対する際の英語表現を身に付ける。 <p><Unit 2: Lesson 3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・否定側まとめのスピーチにおいて、推論する・説得する際の英語表現を身に付ける。
添削課題	添削課題 1回目	添削課題 2回目	添削課題 3回目			添削課題 4回目
面接指導			面接時間 2時間	面接時間 2時間		

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	Unit 2	Unit 2	Unit 2			
学習項目	<Unit 2> Lesson 4, Lesson 5	<Unit 2> Lesson 6, Lesson 7 Lesson 8	後期学習内容の復習	後期単位認定試験	1年間の復習	1年間の復習
学習内容	<p><Unit 2: Lesson 4></p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人への日本文化に関するアンケート調査とその結果を報告するプレゼンテーション。 調査結果について、報告する・展望を述べる際の英語表現を身に付ける。 <p><Unit 2: Lesson 5></p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産に関する問題点とその対応策について述べられているスピーチ。 問題について、説明する・主張する・提案する際の英語表現を身に付ける。 	<p><Unit 2: Lesson 6></p> <ul style="list-style-type: none"> 「30年後の未来が見えたら」というトピックで書かれた英文。 仮定する・推論する際の英語表現を身に付ける。 <p><Unit 2: Lesson 7></p> <ul style="list-style-type: none"> 海外ホームステイで体験したことについて、日本の生活と比較しながら書かれたエッセイ。 比較する・類似点と相違点を説明する英語表現を身に付ける。 <p><Unit 2: Lesson 8></p> <ul style="list-style-type: none"> 留学経験をもとに、日本にあつたらいいと思うアメリカのスポーツに対する取り組みについて書かれたエッセイ。 主張する・読み手を説得する際の英語表現を身に付ける。 	後期学習内容を振り返る。		後期及び1年間の学習内容を振り返る。	後期及び1年間の学習内容を振り返る。
添削課題	添削課題 5回目	添削課題 6回目				
面接指導		面接時間 2時間	面接時間 2時間			